

礼拝プログラム □主の導きにより変わる事があります

- 黙祷 御言葉に耳を傾け、心を主に向けましょう。
- *賛美 179番
- *交読文 48番
- *使徒信条 会衆一同
- *頌栄 174番
- 礼拝のための祈り 働き人 川合ゆきえ
- 賛美 518番
- メッセージ 愛によって働くし(ガラテヤ5:6)
- 御言葉を適用する祈り .. 会衆一同
- 賛美 509番
- 献金感謝の祈り パスター
- 報告と歓迎
- *主の祈り 会衆一同
- *祝祷 パスター

祈禱課題

- ・この教会が神の御声を聞いて御心を行う教会となるように
- ・病、貧しさ、悲しみの内にある兄弟姉妹のために
- ・兄弟姉妹達がキリストの香りを豊かに世に放ち、仕事、事業が祝福されるように
- ・主に忠実で御霊に満ちた奉仕者が70名与えられるように
- ・終末の災いに実際に直面している兄弟姉妹の守りのために

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

たとい____が、人々の言葉や御使たちの言葉を語っても、もし愛がなければ、____は、やかましい鐘や騒がしい鍍鉢と同じである。たといまた、____に預言をする力があり、あらゆる奥義とあらゆる知識とに通じていても、また、山を移すほどの強い信仰があっても、もし愛がなければ、____は無に等しい。たといまた、____が自分の全財産を人に施しても、また、自分のからだを焼かれるために渡しても、もし愛がなければ、いっさいは無益である。愛は寛容であり、愛は情深い。また、ねたむことをしない。愛は高ぶらない、誇らない。不作法をしない、自分の利益を求めない、いらだたない、恨みをいだかない。不義を喜ばないで真理を喜ぶ。そして、すべてを忍び、すべてを信じ、すべてを望み、すべてを耐える。(1コリント13:1-7)

今回の韓国出張では一週間、Great Faith Churchにて交流させて頂いた。御言葉から右にも左にも離れず、ただ真理に留まる事を徹底して教え、また主イエスが確かに生きて働かれておられる事のあかしとしてのしるし、預言や執り成しの祈りのわざを組織的に訓練し、実践し、それを見て信じた人々が集まり、急成長している教会だ。一週間足らずの滞在で、MERSの影響のため多くのスケジュールがキャンセルとなったものの、得たものは実に多かった。その得て来たものを、分かち合って行きたい。御言葉は、「ただ」伝えるだけでは不十分である。もちろん、混じりの無い御言葉のみによって養われる事は一番の理想形だが、御言葉は固い食物で、良い物と悪い物とを経験によって見分ける感覚を訓練された人達が消化できるものである。(ヘブル5:12-14) そのため、霊において弱く幼い人にはどうしても、柔らかい食物が必要だ。(1コリント3:2) そんな彼らへの養いは、「しるし」である。イエス様は、自分が話しているのは自分からではなく御父が語っておられる事を信じなさい、もし信じられないなら”わざ”によって信じなさいと言われた。(ヨハネ14:10-11) 昨今のキリスト教界では、「わざ」「しるし」を求め、それをもって人々を驚かせ、自分の所に引き込もうとし、それで多くの選民が惑わされて来たため、辟易している所は多分にあったが、聖徒達に「しるし」はもう懲り懲り、と思わせるのもまた、サタンの巧妙な策略だ。御言葉に伴い、しるしもついて行く事は、聖書に記されている。『弟子達は出て行って、至る所で福音を宣べ伝えた。主も彼らと共に働き、御言に伴うしるしをもって、その確かな事をお示しになった。』(マコ16:20) 御言葉を聞いて、それを信じ、造り変えられる、という人は、確かに存在するが、少ない。しかし「しるし」によって信仰に入る人は、御言葉だけで信じる人よりは、多い。ただし、今まで天声で教えて来たように、しるしだけを求め、御言葉なるキリストを求めないとするなら、その人の信仰はすぐに廃れてしまう。それ故、私達は福音を伝えるにあたり、御言葉を伝える事のみならず、その内にキリストがおられる事を証するための「しるし」も求める必要があり、それがバランス良くできるよう、学びや訓練が必要である。

Great Faith Churchでは、我々の教会と同じように、御言葉にとどまる事、頑としてそこを離れない事を強調して教えていたが、預言、執り成しの祈りについても、組織的に教え、訓練していた。異言は不信者のためのしるしで本人の徳を高めるが、預言は、信者のための「しるし」で、教会の徳を高める。(1コリント14:22) そして、それら全てを通して一貫して教えていた事は、預言や癒やしなど「しるし」の根幹に源流として流れるべきは「愛」である、という事ある。(1コリント13章) 最も大切なものは、御言葉の詰め込みでも、知識を蓄える事でも、大々的な預言でもない。「愛」である。「愛がない人」が、いくら預言しても、癒しをしても、身を切った捧げ物をして、御言葉の深い奥義をひけらかしても、それはただのやかましい、壊れたシンバルである。私達は壊れたシンバルを演じていないだろうか。預言などの訓練以前に、私達が最も求めるべきは、まず、愛の人となる事だ。神は、愛である。愛は神のご性質であるため、愛の無い人は、決して神を伝えられない。しるしは、確かに大事であるが、愛なきしるしは、むなく、廢れるものだ。実際、愛のないしるしは、廢れた。だから私達は、行ないにおいても、振る舞いにおいても、神をあらわし表現するために、愛を求めるべきだ。

人はいろいろな不足に嘆く。金銀が、力が、認められる事が、不足している、と。しかし私たちは何より、自分の中に、愛が不足している事こそ、嘆くべきだ。神は全てを満たして余り余らせるお方であり、はじめから何もかも整えようと、愛をもって天で待っておられるのだが、愛が無いとするなら、それを与えられない。愛なき力は暴力であり、愛なき金銀の満たしも暴力だ。ノアの洪水以前、ネフィリムという力ある有名な者が台頭したが、その世は、ただ神を悲しませる、はなはだ邪悪な世であり、洪水で滅び去るべきものだった。預言とは何か。それは、愛の神が、愛を持って私達に与えてくださったメッセージである。だから「愛する」事こそ必要なのだ。愛の心が芽生える時、その相手の徳を高める預言のことばが、すなわち、神の言葉を預かって流し出すべきメッセージを、主から見せられる。福音が伝えられるには、しるしも必要である。そして、しるしは、愛が無ければ何の役にも立たない。どうか、愛によって歩む皆さんでありますように！ イエス様の名前によって祝福します！

横浜天声キリスト教会

礼拝 週報



集会案内

各礼拝はインターネットでライブ中継しております → <http://ustre.am/Ydeh> (Yは大文字)

日曜礼拝

1部礼拝 10:30 賛美 11:00 礼拝
食事/フェローシップ 12:00～
2部礼拝(韓国語通訳有) 14:00
聖書の学び会(詩篇) 15:00

金曜徹夜祈祷会 21:00～

日々の集会

月～金 早天祈祷会 5:00～
火・木・金 賛美と祈りの集会 13:00～
火～木 夜の祈祷会 19:30～

水曜集会

1部 13:00～
2部 19:30～

アクセス

横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅
6番B出口を出てまっすぐ徒歩5分
JR・関内駅より徒歩10分
京急線・日ノ出町駅より徒歩10分

関内駅から伸びる大通公園沿い、
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
1Fがファミリーマートになっております。



聖書メッセージを携帯で
聖書メッセージをメールで
毎日携帯にお届けします。
左記コードを読み込み、
空メールを送信するだけ！



〒231-0058

パスター: 林和也

神奈川県横浜市中区弥生町2-17 ストックタワー大通公園I-201

TEL/FAX: 045-326-6211

Homepage: <http://voh.plala.jp/>

email: ephes_03-tensei@yahoo.co.jp



モバイルサイト